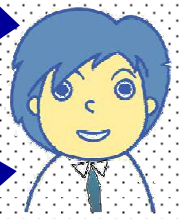




ねっどわーく



H24.08.31 No.36

■ 運動会と研究を絡めてみると… (つれづれなる雑感)

朝晩は、ようやく涼しくはなってきたものの、日中の暑さは厳しいですね。そんな中、いよいよ運動会が来週にせまってきました。



わたしは、この運動会を通して、
目の前の子どもたちに、

の力を育てます。

ちょっと、自分の運動会の係に来ている子どもたちに、どんな力をつけたいのかを考えてみましょう。運動会が「形として成功すること」が目的ではなく、子どもたちの「内面が変わること」が目的ですね。ひいては、それが、その後の子どもの生活の変化につながること。それって、「やった方がいい」と先生に言われたから、では決してないと思います。(まあ、そういう時もありますけど。)

指導するのは子どもの「困り感に寄り添うこと」ですよね。これって、授業と同じかなあ…。特に、切羽詰ってきて「～しなければならない。」のに、子どもたちが出来ていない場合、私はあれこれ世話を焼いてしまうことがあります。でも、それをやっちゃうと、「最後は先生に聞けばいい。」みたいな風潮が生まれてしまい、「自分たちで何とかする。」からは遠くなっちゃうかなあ…。自戒自戒。で、それは、「～しなければならない。」という必要感が先生にだけあって、子どもたちにないことが原因ですよね。そういう授業はまずいですよね…。じゃ、どうするか。みなさんだったらどうしますか？どんな言葉を子どもたちにかけますか？(*^_^*)

くれぐれも、「熱くなるのは子どもたち」ですよね。いい思い出を残してあげたいなあ。(*^_^*)

◆再度、鬼のようなお願い◆

お願いするのが、心苦しい状況をお察してください。大変お忙しい中なのですが、指導案、なんとか(月)までにお願ひできますでしょうか？また、できるだけ早めに、2の1・1の2・5の1の授業の「研究だより」を学年の先生から、また、1の2・5の1の授業考察(授業者)よりもお願ひ致します。m(_ _)m

鬼のようなお願い、大変申し訳ありません…。